

(11月1日現在)	(10月中)	
世帯数 17,152世帯	生まれた人 60人	
人口 53,451人	亡くなった人 18人	
男 26,283人	転入した人 204人	
女 27,168人	転出した人 221人	

広報 向日市

No.442

昭和63年12月1日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)

◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111

向日市民平和のつどい



演題「文学・人生・平和」
作家 大江健三郎氏

真の恒久平和達成のために……。市では、11月11日 市民会館で、「向日市民平和のつどい」を開催しました。昭和59年11月3日に「世界平和都市宣言」を全世界へ向け行った本市では、この平和のつどいをはじめ、平和行動計画に基づく数々の事業を展開してきました。



平和はみんなのもの

大江健三郎氏を迎えて 市民平和のつどいを開催

平和への訴え

我々は真の恒久平和達成のため唯一の被爆国民として全世界に核兵器の廃絶と軍縮を求め戦争による惨禍を繰り返さずにはならない。向日市は長岡京遷都千二百年にあたる昭和五十九年十一月三日に世界平和都市宣言を行い世界平和の実現に向かって断続的な努力を傾注することを誓った。以来今日まで、向日市平和行動計画に基づき平和の理念を内外の人々に訴えかけ、世界恒久平和への具体的な行動を実践してきた。今日の世界情勢は米ソ両国による「中距離核戦力全廃条約」の締結イラン・イラク戦争の停戦ソ連のアフガニスタンからの撤退などその潮流において平和を求めようとする方向にある。しかしながら局地的にはなお地球上のどこかで紛争や内戦が起り更に核保有国による核実験が繰り返されている。私達はなお一層平和を求めようとする行動を強め世界恒久平和実現への国際世論をより大きく喚起しなければならない。私は今ここに改めて核兵器の廃絶と軍縮を全世界に訴える。そして我が国においては非核三原則を引き続き堅持し世界の平和を実現するための全力を傾注されることを訴える。私達は向日市の輝かしい未来を築くため人類永遠の平和樹立に向かって共に惜しみない努力を払おうではありませんか。

昭和六十三年十一月十一日
向日市長 民秋依天

次代を担う 人々に語り継ぐ

平和についての 作文募集

市では、市民の戦争体験や平和の尊さを訴える作文を募集しています。寄せられた作文は冊子に収録し、次の世代を担う人々に語り伝えるものとしてします。

■応募資格
向日市内に在住、在勤又は通学している方

■原稿
(1) タテ書きの400字詰め原稿用紙10枚以内
(2) 文章は、できるだけ簡単に表現すること
(3) 原稿には、住所・氏名・生年月日・電話番号(在学中の方は、学校名・学年)を明記すること
(4) 原稿は、返却しません。
締め切り
昭和64年3月31日(金)
提出先
寺戸町中野20番地 向日市役所総務課
お問い合わせ
総務課 内線253



平和への訴えをする民秋市長

人権週間記念講演会 「ガンと食生活」

講師/医学博士 能勢善嗣
(前 福井医科大学学長)

日時/12月8日(木)午後1時30分～

場所/市民会館 第1会議室

※入場無料



人権相談所を開設

12月4日から10日までは、第40回人権週間です。向日市では、この12月を人権月間として、次のとおり、人権相談所を開きます。人権問題でお困りの方は、お気軽に相談におこしください。

■日時■ 12月13日(火) 午前10時～午後3時

■場所■ 向日市民会館第3会議室

■人権擁護委員■

中山 仙三	物集女町中条29-1	電話 921-8092
濱田加奈子	上植野町浄徳11-46	電話 932-1257
三木 窓外	上植野町北小路40	電話 931-0726
笹野 貞子	寺戸町二枚田12-26	電話 921-5052
神川 清	森本町天神森6-8	電話 932-4801